

スウィフト 馬鹿一代

その「二」



いつも愛車と大奮闘のライムでチューニングもメンテナンスしている Muller さん。世間の思川氏と次のチューニングの相談？

車高調、フルバケ、そしてタービン装着と骨の髄までサーキットマシンに仕上がった ZC31S のオーナーは「最初の車検で乗り換えようかと思っていました」と、意外なひと言。ヘビーターニングまでの道のりは実に興味深い。

Muller さん

「打てば驚く」そんな口調で取材に絡んでくれたのが印象的だった Muller さん。某家電量販店に勤務していることも実体アリ？



サーキットとは無縁のクルマライフだった

实用重視でターボ？ ジワジワと忍び寄るスウィフトの魅力